コンサルタント業務のご案内

これから開始される事業におけるコンサルタント業務内容についてまとめました。

・コンサルタント業務

一口にビル建設といっても、賃貸マンションを例にとっても末永く安定収入を維持させるには、住みやすい間取りの決定や維持管理のしやすさを考慮するのはもちろん、住む人や時代のニーズを読み、「この土地でもっともふさわしい計画」をご提案しなければ、と思います。

計画はマンションに限られる訳ではなく、ホテルやオフィス、あるいはマンスリーやウィークリーマンションといった、この土地にふさわしいスタイルを探し求めるには、市場動向の知識や企画に対する裏づけ調査、といった業務も求められると思います。

「建てる」ことが目的ではなく、「何」を建てる事によって事業を「どのように」成立させるのか、を求める視点が大切といえましょう。

・コンサルタント体制

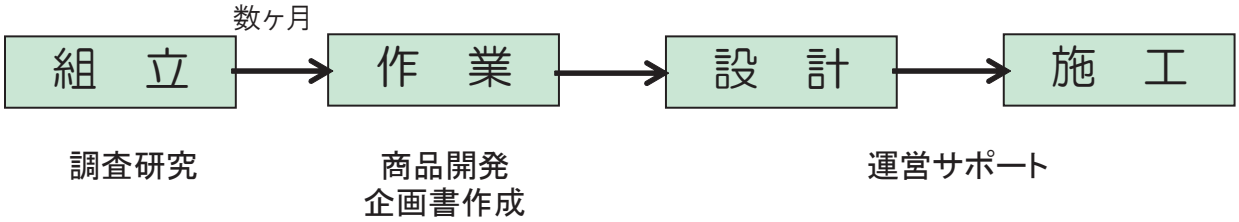
事業をご検討なさる際には、さまざまな側面があります。

建築主様の条件や、ご家族の事情を良く理解したうえで、税制面の処理やテナントとの契約の問題など、より事業を確実なものとするためには、それぞれの分野でのサポート役の存在が望まれます。会計士や弁護士といった人たちはそのようなサポートチームの一員となるでしょう。

私どもが建築主様をサポートする役割には、建設面のコンサルタントだけではなく、そのような方々の考えを計画に反映させ、調整する業務も必要になってくると思います。

コンサルタントに伴い、建物の計画や、事業収支の検討など企画分野では、ビッグバン㈱＋㈱関口雄三建築設計事務所が、専門スタッフとして事業計画をサポートする体制を敷いています。

・業務の流れ



・業務期間

必要に応じて業務にあたることとしますが、目安として一年間を考えています。

具体的な建物プラン立案の以前に、ご家族の方々にこれから始まる事業についてのご理解をいただくことが何よりも大切であると思います。

土地の有効活用をめぐって、資金・収入面での検討、返済計画・節税対策など多角的にご検討いただくことが必要であり、そのためには時間をかけて、一歩一歩着実に計画を進めることが、結果的に近道であると思います。

一年間は長いようでもありますが、私自身が自分の土地で経験した計画の経験からしますと、納得のゆく事業計画を練り上げるための、時間投資と考えます。

期間は限定せず、一年間を想定しているのは、そのためです。